



民主党埼玉県第1区総支部

衆議院議員

たけまさ公一 国会レポート

平成18年発行 第58号

Koichi Takemasa



目次

10月10日・15日

北朝鮮核開発への非難決議、
国連安保理決議

10月16日・19日

テロ対策特別措置法質疑、

テロ対策特別措置法本会議採決

10月26日

「NHK命令放送に異議」

衆議院総務委員会

Koichi Takemasa Information

日々ブログ更新中！たけまさ公一のサイトへお越しく下さい

<http://www.takemasa.org>

携帯版のアドレスはこちら

<http://www.takemasa.org/i>

皆様のご意見をお待ちしています

voice@takemasa.org

北朝鮮核開発への非難決議、 国連安全保障理事会決議

(10月10日衆議院本会議・15日国連安全保障理事会)

10月9日の北朝鮮による核実験実施の発表を受けて、その翌日の10日に「北朝鮮の核実験に抗議し、全ての核兵器及び核計画の放棄を求める決議案」を衆議院本会議で決議をしました。また、国連も15日(現地時間14日午後)には、安全保障理事会で「北朝鮮に対する国連憲章7章に基づく制裁決議案」を全会一致で採択しました。国連の安全保障理事会の制裁決議が、核実験実施表明から1週間も経たずに採択されたということで、北朝鮮に対する国際的な非難の強さを示すものです。我が国としても、厳格な態度をもって、北朝鮮に対応していきます。

テロ対策特別措置法質疑、 テロ対策特別措置法本会議採決

(10月16日テロ対策特別委員会、19日、衆議院本会議)

テロ対策特別措置法改正案の審議のため、10月16日に特別委員会で質疑に立ちました。テロ特別措置法、イラク特別措置法で、「武器の提供は可能かどうか、検討されている自衛隊の海外派遣恒久法ではどうなるのか」を質しました。塩崎官房長官は、テロ対策特別措置法、イラク特別措置法では法律上武器の提供はできないと回答。恒久法については、「実際の法律の書きぶりによるので、現時点で答えることは難しい」と答えました。また、「武器・弾薬の輸送・運搬がイラク特別措置法で可能かどうか」も質しました。これに対して、塩崎官房長官は「イラク特別措置法では武器・弾薬の輸送は除外されないが、行わない方針。実施要綱で行わない」とのこと。続いて、「周辺事態安全確保法での、武器の輸送・提供はどうか」と質したところ、久間防衛庁長官は「周辺事態安全確保法では、輸送については可能であるが原則として輸送力は提供しない」ということでした。

最後に、ロシア沿岸警備隊によって銃撃され、拿捕された漁船の船長が週刊誌に寄せた手記に言及。手記の中で、領海内で操業中だったこと、違法な密漁はしていないなどと述べていることについて、政府としても、真偽

を早急に質すよう求めました。麻生外相は、「コメントはできない。双方の言い分が大幅に違う」との答えでした。

また、10月19日の衆議院本会議において、テロ対策特別措置法に基づき我が国が実施する措置を引き続き実施し、もって我が国を含む国際社会の平和及び安全の確保に資するため、同法の期限を一年間延長することが決定しました。

NHK 命令放送に異議

(衆議院総務委員会質疑 10月26日)

10月26日、衆議院総務委員会は24日の大臣所信を受けての質疑。私からは、表題のほか地方分権改革推進法になぜ道州制が含まれないか、奈良県での妊婦が19病院をたらいまわしにされ死亡した事件を受けて、消防と病院の連携の強化などを求めました。

総務大臣は10月11日の衆議院予算委員会で特定失踪者調査会が行っている北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」への支援を約束しました。これは民主党議員への質問に答えてのものです。そして、13日の記者会見で、放送法33条に則り、NHKの海外短波放送への命令放送に「拉致問題に留意すること」を盛り込むことを表明しました。さらに、11月8日には電波監理審議会に命令放送の諮問を行うとしています。

質疑により、4月1日には命令放送の文書とともに「災害、テロ、拉致」への留意を、初めて口頭で総務省総括官が伝えたことも明らかになりました。放送法3条は「放送番組編集の自由」を認めており、このたびの命令放送に個別の項目を書き込むことはそれを侵害する恐れがあります。答弁で「しおかぜ」支援と、命令放送は別な観点であると大臣は認めています。10月27日、民主党拉致対策本部では安部総理宛「しおかぜを日本から放送できるよう」申し入れも行ないました。同日、民主党・次の内閣総務担当名で、私も以上の趣旨の談話を発表しました。

拉致被害者および特定失踪者の救出のため、短波放送「しおかぜ」支援など、可能な限り政府与党に求め、そして民主党についても、最大の努力を果たしていくのはもちろんです。放送の独立性・報道の自由を守るために、放送免許の許認可権を有する所管大臣の命令放送の内容については、慎重な対応を強く求めます。

衆議院議員たけまさ公一 クリスマスパーティ 2006



日時: 12月19日(火)
PM 5:30 受付
PM 6:00 開会
会場: 浦和コルソ7F
コルソホール
会費: 3,000円



晩秋の見沼たんぼを たけまさ公一と行く 第20回「見沼を歩く集い」

見沼たんぼと、そこに残る自然を満喫しながらのウォーキング。悠仁親王様のお印「高野槇」の観賞、そして温かい芋煮を賞味しませんか。

集合日時 11月26日(日)9時半
集合場所 東武野田線七里駅
コース 七里駅から大谷方面へ南下し、見沼代用水東縁を北上
会費 500円
服装等 軽装・運動靴、水筒・お弁当
申込方法 事務所へ電話でお問い合わせください



東京武正会

講演会 & 交流会

テーマ「日中関係はどこに向かうか」
講師: 渡部利夫氏(拓殖大学学長)
日時: 11月22日(水)
18時~20時20分
会費: 20,000円
会場: 赤坂プリンスホテル
別館5階 ロイヤルホール
千代田区紀尾井町1-2
TEL03-3234-1111

第60回 たけまさ公一と語る会

テーマ「小沢ヴィジョン」

日時: 11月26日(日)14時~16時
会場: さいたま市民会館うらわ 101
浦和区仲町2-10-22
TEL 048-822-7101

参加費: 無料

月一回、たけまさ公一を囲みオープンミーティング形式で勉強会を行っています。事前の申込みの必要はありません。ぜひお気軽にご参加下さい。

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは・・・

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: voice@takemasa.org ...までお願いいたします。



衆議院議員たけまさ公一 プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成元年、松下政経塾卒業。平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選。平成17年9月、衆議院議員3期目当選。民主党 NC(=次の内閣)総務担当。民主党埼玉県連幹事長。衆議院総務委員会筆頭理事。

たけまさ公一事務所・所在地

さいたま事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル 2F TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
国会事務所 千代田区永田町2-1-2 第2議員会館312号室 TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715